



### 美濃市について

美濃市は、清流長良川や支流の板取川、緑濃い山々など豊かな自然と、千三百年の伝統を誇る「美濃和紙」、中心市街地には、江戸時代に築かれた伝統的な建造物が多く残り、歴史的景観が保たれるなど伝統文化が息づくまちです。

令和3年6月末日現在の人口は19,960人、高齢化率は36.5%となっており、近年の人口減少・少子高齢化に歯止めがかかっていない状況となっています。

### 美濃市民生委員児童委員協議会について

美濃市民生委員児童委員協議会は6つの単位民児協に分かれており、現在全員で61名（うち主任児童委員12名）が活動しています。

定例会は、各単位民児協がそれぞれ開催時期に沿った研修テーマを取り入れたり、事例について話し合うことで、活動が孤立しがち

な民生委員・児童委員間で交流を図っています。また、市と地域包括支援センターの職員にも入ってもらい、日頃から顔の見える関係を作っています。

その他、市社会福祉協議会が行う高齢者配食サービスでは、美濃市赤十字奉仕団が手作りするお弁当を民生委員・児童委員が届けるなど、他の関係団体との連携にも積極的に取り組んでいます。

### 高齢者ふれあいサロンの立ち上げについて

美濃市内では、ふれあいサロンを自治会主催や民生委員主催で実施しています。その中の一つである上牧地区を紹介いたします。

上牧地区（民生委員主催）は6つの自治会から構成され、元々はその中の1つの自治会しかサロンを実施していませんでしたが、その唯一のサロンも、実施主体が任期2年の福祉委員だったため、任期が終わるタイミングで自然に消滅

してしまいました。「このまま上牧地区にサロンが無いのは良くない」と思い立ちあがったのは、第四民児協（上牧地区）の民生委員・児童委員でした。人口減少と高齢化が進む中では、1つの自治会単独でのサロン実施ではなく、上牧地区全体でサロンを開設しようとして「みのがみふれあいサロン」が始まりました。

開催場所を特定の集会場に決めず行事内容ごとに変え、上牧地区の住民誰もが参加し易いように工夫しました。サロンが民生委員・児童委員同士の連携にもつながり、より強い連帯感が生まれたことも大きなメリットです。この流れを絶やさず、今後も継続していくことが大切だと考えています。



▲みのがみふれあいサロン～ハーバリウムの作成～  
美濃市 上牧公民館にて

### 地域見守り活動について

要支援者への訪問活動等の他、役立つことはないかと考えて、スタートしたのが地域見守り活動

です。

平成29年民生委員制度創設100周年を機に、市民児協の予算で、「安心安全見守り隊」と書かれたマグネットシートを購入し、全民生委員・児童委員に配布しました。

活動の際はもちろん、活動外でも自家用車にマグネットシートを貼っておくことで、いつでも地域を見守りしているというメッセージになります。また、地域の方へ民生委員・児童委員が誰かということや、活動の周知にもつながります。



▲安心 安全 見守り隊  
マグネットシート

### 結びに

昨年、今年とコロナ禍での活動が続いており、県の研修等も集まって開催できていない状況が続いています。この様な変化する状況や制限のある中でもできること、また地域の方に何が求められているかを考え行動することを、美濃市民生委員・児童委員協議会として取り組んでいきたいです。